

道徳学習指導案

授業日時 平成 30 年 9 月 5 日(水)第 1 校時
 授業学級 2 年 B 組 男子 20 名 女子 20 名 計 40 名
 授業会場 (302)教室
 授業者 _____
 指導教員 _____

1 主題名「尾畠春夫さんが説くボランティアとしての心がけ」 (内容項目 B- (6) 思いやり、感謝) (2 年)

2 主眼

資料「尾畠春夫さんが説くボランティアとしての心がけ」を読み、尾畠さんは被災者に対する言葉がけをどんな思いで言っているか考えていく場面で、尾畠さんの生き方やボランティアに取り組むにあたっての考え方に触れたり、その考え方についてさまざまな意見を交換したりすることを通して、相手の立場や気持ちに対する配慮が必要であることの大切さに気付くことができる。

3 指導上の留意点

- ・導入で他者への言葉がけについて考えるように促すことで、自分の体験を重ねたり想起したりしながら授業に取り組めるようにする。

4 展開

過程	学習活動・【学習形態】	予想される生徒の反応(○)や意識(◎)	支援(・)と評価	時間
導入	1 ある場面においての他者への言葉がけについて考える。 【全体】	補助発問：あなたならどんな言葉がけをしますか。 ◎電車はよく乗るよ。 ◎おばあさんが来たら、「席どうぞ」って声をかけるな。 ◎おばあさんに席を譲るべきだよ。 ◎部活で疲れていたなら、すぐに席を譲れないかもしれない。 ◎席を譲ろうとして断られたときのことを考えると、言い出すのに勇気がいるな。	・電車で席に座っているときにおばあさんが来たらどう言葉かけをかけるかなどについて尋ねることで、おばあさんに寄り添う言葉かけがある一方で、いつでもだれでも声をかけることができない人間の弱さについて気付くことができるようにする。	10
	2 尾畠さんがどんな人でどのような活動をしているのかを知る。 【全体】	◎スーパーボランティアって何だろう。 ◎たしか尾畠さんという名前で、すごく元気なおじいさんだったな。 ◎スーパーボランティアの人って、2歳の男の子を見つけたんだよね。 ◎尾畠さんは78歳なのに、すごくパワフルだ。 ◎尾畠さんはいろんなところへ行って、ボランティアをしているんだね。	・スーパーボランティアという言葉聞いたことがあるか尋ねることで、尾畠さんや山口県の男児遭難事件について想起できるようにする。 ・尾畠さんがどんな人でどんな活動をしているかを紹介することで、尾畠さんについて知ることができるようにする。	5
展開	3 資料「尾畠春夫さんが説くボランティアとしての心がけ」を読んで、尾畠さんの生活に着目する。 【全体】	◎ボランティアをするときは何ももらわないのが尾畠さんの流儀なんだね。 ◎尾畠さんは被災者の方を第一に思っているんだね。 ◎尾畠さんは月に国民年金の5万5000円で生活している。 ◎朝ご飯しか食べないときもあるらしい。 ◎対価や物品、飲食なども一切受け取らないようだ。	・資料を範読することで、尾畠さんのボランティアへの取り組み方や心持ちを確認することができるようにする。 ・尾畠さんはどんな生活をしているか尋ねることで、決して裕福な生活をしているわけではないことに気付くことができるようにする。	10
	4 尾畠さんは被災者に対する言葉がけをどんな思いで言っているかについて考えて発表する。 【個人・全体】	中心発問：尾畠さんの被災者に対する『おけがはなかったですか?』は、どんな思いで言っているのだろう。 ◎尾畠さんは『おけがはなかったですか?』と声をかけている。被災者のことを第一に考えた言葉がけだろう。 ◎もし被災者の立場になったとすると、いろいろ聞かれるのは辛いと思う。だから、根掘り葉掘り聞かない尾畠さんの思いやりが感じられる。 ◎この資料を読んでみると、尾畠さんは自分のために活動しているわけではなさそうだ。 ◎〇〇くんはこんな気付きをしていたんだ。	・尾畠さんは被災者に対する言葉がけをどんな思いで言っているか尋ねることで、尾畠さんの相手の立場や気持ちに対する配慮に目を向け、その大切さに気付くことができるようにする。 ・考えた意見を発言するように促すことで、尾畠さんの活動についてさまざまな視点で捉え深めることができるようにする。	15

			【評価】 相手の立場や気持ちに対する配慮が必要であることの大切さに気付くことができたかを発言や学習プリントから評価する。	
終 末	5 授業を通して感じたこと、考えたことを学習プリントに記入し、発表する。 【個人】	◎困っている人を見かけたとき、声をかけるのに勇気がいるけど、その勇気が大切なんだと思った。 ◎今までは自分のことを中心に考えてしまっていたけど、相手の気持ちを考えて言葉をかけたり、行動したりすることが大切だと感じた。	・授業を振り返り、感じたことをまとめようと学習プリントへの記入を促すことで、今日の学習の振り返りをすることができるようにする。 ・説話を行うことで、本時の内容項目について理解を深めることができるようにする。	10

5 板書計画

振り返り	9/5 尾畠春夫さんが説くボランティアとしての心がけ ○場面1 ・「座りますか？」と声をかける ・「どうぞ」と言い席を譲る ○場面2 ・「お困りですか？」と声をかける あなたならどんな言葉をかけますか？ ・疲れていたら座っているかも ・声をかけるのに勇気がいる ・知らない人に声をかけづらい ○尾畠さんの被災者に対する『おけがはなかったですか？』は、どんな思いで言っているのだろう。
------	---

6 準備するもの

- ・資料『尾畠春夫さんが説くボランティアとしての心がけ』 40部
- ・学習プリント 40部
- ・パワーポイント（導入）
- ・フラッシュカード
- ・説話